

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2009年11月30日

101号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991



∞ 安全にあんしんして暮らせるように ∞

身近なところで第一歩！

新型インフルエンザが、猛威を振るっています。お変わりございませんか！少し下火になってきた感もいたしますが、季節性のものと混在する、これからは心配されます。横浜も障害者の事業所に対する取り組みが区によって少し違い、すぐ報告せよ、というところから7人出てから... というところまで、いろいろのようです。

ただ、重篤になる可能性のある人もいますので職員たちはピリピリしています。ご多分にもれず「活動ホームしもだ」も数日活動を停止し、秋まつりも中止にしました。お蔭様で、大事に至ることはなかったのですが、今後、もっと強い症状のインフルエンザなどの可能性に備えて、対応のマニュアル化が急がれています。

またこれを機に、そのほかの馴染みのある感染症などについても、出来るだけ正しい知識を得ておく事が必要なのではないのでしょうか。いたずらに感染源探しをしたりするのも辛い思いをさせることになるし、かといってリスクの高いひとたちには、十分な配慮が欠かせません。

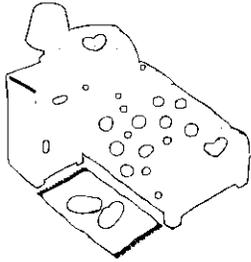
* * *

さて、前号にお知らせしました活動ホームの新たな事業形態への取り組みについてですが、先日の理事会・運営委員会の討議で、「しもだ」も連結・連合による運営基盤の強化を図っていく事になりました。同時に、現在の活動の形は変えずに移行できるため、障害者自立支援法の個別給付事業の導入を検討していきます。

これについて、家族会などでも研修会や話し合いが、持たれてきましたが、今後の検討会などにも充分家族や当事者の意見が反映できる仕組みを作っていく予定です。

個別給付・生活介護に移るについては、新たな人材や、長らく私たちが必要と感じてきたナースの配置など、ととのえなければならぬ条件がありますが、必ずしも楽に解決できることではありません。名ばかりの配置にならないよう、しっかり機能する体制をのぞむところです。ここで、数館の活動ホームが連結・連合し、共同で取り組む事のよさが発揮できるようになればと願っています。

そして、新政権での障害者政策の行方は... いかん。



グループホームの未来

港北壱番館運営委員長 関野茂喜

自主運営の「港北壱番館」は、今年12月で15年になりました。
引越しの準備作業中、一番館を作ってきた「あゆみ」がありました。

「しがらみネットワーク」地域に住む教師、福祉に興味を持つ若者たちの集い。

「イベントプランナー」港北で演劇を中心軸にして企画した集い。

[福祉問題研究会]障害者の歴史、世界の先端福祉、グループホームの勉強会を経て、ようやく[グループホーム準備会]を設立した。

港北ふれあい委員会にとっては、ひとつの歴史であり、ハンディキャッパーの環境を、地域で築く礎の歴史でもありました。

追われるごとく歩んできましたが、福祉の未来が不確かな時代になりました。
これからの近い将来を、「港北壱番館」はどんな足取りで歩むのでしょうか。

ハンディキャッパーが親元を離れて街に住み、足を投げ出して寝たい願いをあきらめろ
というのでしょうか。これ以上の費用を親権者に求める事は、もう限界に来ています。職
員の未来も辛いけど保障できません。

今、求められているのは、横の繋がりを深めて行動する事です。考え方や、障害や地域の
違いを越えて、未来を共に考えませんか。

ご入会・ご継続 ありがとうございます

<敬称略>

《賛助会員》 大賀 和夫 松本 直子 森 興理子

《ご寄付》 山本 暁子 斉田 弘子 (21年11月29日現在)

いつも暖かいご支援をいただき、感謝いたします。

お知らせ

ミニ バザー 開催

期日：12月5日(土) 10:00 開場 午後1:00 閉店

会場：活動ホームしもだ

****研修会の開催****

期日：12月21日(月) 10時30分より12時30分

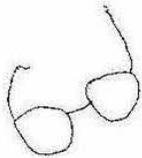
会場：横浜ラポール3F会議室1

内容：グループホームの現状と課題

講師：横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 小嶋巳千代 氏



ご一緒に!



めがねの声 — 96 —

■子どもたちの遊ぶ声が好き...

皆さんお元気ですか。あっという間に季節が変わり、近くの公園も、通るたびに落ち葉がおおくなります。私は、季節や気温の入れ替わる時が苦手です。

* * *

私は、時々ですがテレビで、夜7時30分からのクローズアップ現代という番組を見ます。面白いし勉強のつもりでも見るのです。

この前、子どもたちのお話がありました。よく地域の公園に「ボール投げをしないこと」などというほかにも「近所の人たちにうるさいので」と、いろいろな注意書きが張られているそうです。

子どもたちが木に上ったり、皆で遊んだりする機会がなくなるので、ボランティアさんたちが公園で遊ぶ会を作っているといっていました。その会があるときは、前の日にボランティアさんたちが、地域を回ってお願いのお手紙を渡して歩くのだといいます。

「大変だな」と思っていました。朝早くや、夜遅くまでなら困るけれど、昼間は自由に遊ばせてやればいいのに と思いました。

* * *

私は、子どもたちの遊ぶ声が好きです。家のまわりでも、遊んだりボールを叩いてテニスの練習の真似をしたり、土曜日は、お父さんがキャッチホールのあいてをしてみました。子どもたちの声を聞くとホッとして、地域の中にいるなという気がします。

休みの日などに、あまりうるさいのは、いやでしょうが、元気な声を聞くのは、私はうれしいです。この頃は、あまり聞こえなくなりましたが、皆 大きくなったからかなとおもいます。

近くの公園は、ベビーカーで来る赤ちゃんや、そのお母さんたちのおしゃべり、時々お年寄りのゲートボールのゲームをする人ばかりです。

日本の子どもたちの体力がなくなっているという話を、ときどき聞きますが、毎日の小さな運動や遊びが大切なのだと思います。

皆さんは、どう思いますか....

大原 友子

お詫び

編集者の都合により、通信の発行がおくれました事をお詫び申し上げます。100号でおしまいにするの」などにご心配いただきましたが、今後とも、変わらず発行いたしますので、ご愛読の程を... 皆様のご意見、お便りをおまちしております。



今月のよつばホーム

よつばホーム

秋もようやく深まってまいりましたが、みなさまいかがおすごでしょうか。

10月11日（日）新吉田町内運動会に参加しました。

天気にも恵まれ絶好の運動会日和です♪

職員の車とタクシーに乗って会場へ出発です。運動会当日は暖かくてみんな気持ち良さそうに参加する種目を待っています。

そしていよいよ参加種目『新吉田朝市』への出番です。

『新吉田朝市』とはよーいドン！でスタートして、狙った野菜をゲットしてゴールするという種目です。

スタート合図のピストルの音に一瞬ビックリしながらも、みんなほぼ狙い通りの野菜を獲れた様です♪

今年の運動会も天気に恵まれ、楽しく参加することができました。＼(^▽^)/



第2よつばホーム

だんだんと寒い日ばかりが続くようになりましたね。入居者のみんなもスタッフと笑いながら元気にすごしています。

10月は6日に山田さんが、20日に友子さんが活動ホームしもだの個別外出に行っておきました。前日から準備に余念がありません。雨が降らないようにテルテル坊主も準備をして晴れをお願いしました。

山田さんの外出は残念ながら雨。。。でしたが、山田さん本人は買い物ということで、楽しみな様子です。

行き先はみなとみらい。カッコイイ洋服を買い、美味しい物を食べて来ました。

友子さんの日はテルテル坊主の効果もあり晴天で外出日和。行き先は三溪園！

途中でお弁当を買い、園内で美味しく食べ、散策を満喫してきました。

帰宅後はお茶を飲みながら、それぞれ外出の話をしてくれました。

阿部さんや章子さんは二人を横目にお土産は？と期待した顔をしていましたが、二人の話に終始笑顔でした。

その日の夜も、それぞれ部屋に入ってから余韻を楽しんだようです。

* * *

昨年5月まで、第2よつばホーム職員として活躍してきた角井香澄さんが10月17日披露宴を挙げました。お幸せに・・・。

☆ ..:*°☆..:*°☆ Happy Wedding ☆°*!..☆°*!..☆